

新基地建設反対名護共同センターニュース

「台風避難の工事船はもう戻ってくるな！」



工事船が少なくなってスッキリした大浦湾（19日、瀬嵩から）

不要不急工事の税金はコロナ対策へ！

ヘリ基地反対協の海上チームは17日、感染症対策をとり大浦湾の現場で抗議船2隻とカヌー10艇で監視と抗議活動を展開しました。この日、日本の南で熱帯低気圧が台風6号へ発達中で週明けには暴風域を伴い沖縄地方へ近づく恐れがある予報が出ました。このため、海上の埋め立て工事現場の工事は中止に。さらに赤土を陸揚げ用の大型の台船5隻が台風対策で避難先に移動するため工事船にけん引されて大浦湾の開口部から次々と外海へと引き上げていきます。

緊急事態宣言中で工事やっている場合か

カヌーチームは移動中の台船や海保の職員に向かって「ストップ！違法工事」などのパネルを掲げ無言の抗議を続けました（写真上）。ヘリ基地反対協の仲本興真事務局長（同円内）は抗議船から、「沖縄県は緊急事態宣言中だ。不要不急で完成見込みのない工事をやっている場合ではない。警備費だけでも1日2600万円もの血税などいともない。その税金をコロナ対策に回せ！新基地建設の反対の民意は何度も示されている。民意を尊重し新基地建設は中止せよ。工事船はもう、戻ってくるな！」とマイクで訴えました。

台風と連休で今週の工事休止か



写真は20日午前9時の工事用ゲート。台風対策でゲートを覆った網を取り外し、通常40人ほど配備するアルソックの警備員は数人規模に縮小。今日から工事は休止になったようです。

先週、キャンプ・シユワブ工事用ゲートから連日130台ほどの基地内に入り7割は荷物を積まないうカラのダンプでした。監視員は「基地内で作業用道路を造った残土を運び出しているようだ」と語っていました。ゲート前で19日、「瀬長和男県統一連事務局長は明日から台風6号の影響があり後半は4連休もあるため、今週の工事は休止になるかもしれない」と話しました。

7月16日の「しんぶん赤旗」日刊紙が、やんばる世界自然遺産候補地の米軍廃棄物問題について「大量の米軍ゴミ演習場抱えたまま やんばる自然遺産登録はありえない」を掲載したことについてチョウ類研究者の宮城秋乃さんが、フェイスブックで次のように発信しています。

秋乃さん「赤旗はスゴイ！」

「やんばる自然遺産登録」問題の記事に

赤旗はスゴイ！「やんばる自然遺産登録ありえない」と、ワタシの主張を大きく示しています。

記事の一番下の段では、政府の企みについても言及しています。また、沖縄防衛局に北部訓練場の警備を委託された民間会社（全琉警備保障株式会社）による過剰警備の予算についても触れています。

米軍廃棄物問題を掲載しながらもどちらかというと登録に肯定的な新聞、テレビ報道が多い中、赤旗はその裏にある真実を見逃しません。両論併記のフリをして結局は世界遺産登録推進を盛り上げている報道機関は赤旗の姿勢を見習ったらいと思います。（写真は宮城さんのFBから）



登録に肯定的な新聞、テレビ報道が多い中、赤旗はその裏にある真実を見逃しません。両論併記のフリをして結局は世界遺産登録推進を盛り上げている報道機関は赤旗の姿勢を見習ったらいと思います。（写真は宮城さんのFBから）

不屈館

8月の企画案内 ① 親子で学ぼう沖縄戦

映学会 8月8日(日)

午後1時上映開始

予約はいりません。
小中学生は無料です。

① 1時開始

「ガジュマルは生きている」
(32分)



伊江島で沖縄戦が終わったことを知らず、2年間もガジュマルの上で暮らしていた2名の兵隊の実話をもとに、伊江小学校の生徒が演劇で発表した貴重なDVDを上映する。

② 1時40分開始

アニメドキュメント
「あの日僕らは戦場で」
(75分)



沖縄戦に駆り出された、15、16歳の少年達がいた。護郷隊と呼ばれ、過酷な戦場で闘った記録をわかりやすくアニメで伝えていく。

③ 3時開始

映画「沖縄 第一部
一坪たりともわたすまい」
主演：佐々木愛 地井武男 (75分)



復帰前の1970年制作、出演者に米軍が、スポーツを許可せず、撮影の多くは奄美島で行われた感動のドラマである。

不屈館入館料が必要。＜大人 500 円、高校・大学生 300 円、中学以下・障がい者無料＞